

第7次中期計画書・営農振興計画書

令和元年度～令和3年度

令和元年度取組実践状況報告 (JA前橋市の自己改革の取り組み)



▲きゅうり勉強会の様子



▲サツマイモの収穫体験の様子



▲女性大学の講座の様子(コットンパールネックレス作り)



JA前橋市

群馬県前橋市富田町2400番地の1 TEL.027-261-3000

J A 綱 領

－わたしたち J A のめざすもの－

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

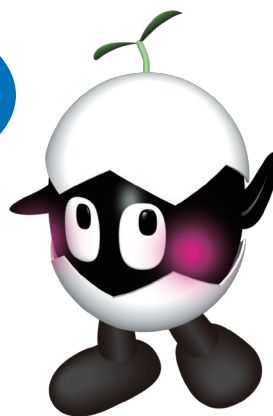
わたしたちは、

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

目次

●第7次中期計画・営農振興計画について	1
●自己改革としての取り組み	1
●めざすJA前橋市の姿(長期ビジョン)	1
●中期計画の体系	2
●第7次中期計画・営農振興計画の戦略構造	3
●農業者の所得増大・生産拡大に向けた取り組み	4
●地域の活性化に向けた取り組み	6
●営農センター化の実現	6
●総合事業性を活かした部門間の情報共有と発信による 利用者へのアプローチ	7
●地域農業と地域利用者に貢献するJAとなるべく経営基盤の構築	7
●地域貢献に関する取り組み	8

第7次中期計画で取り組んだ
様々な活動をご報告します！



JA前橋市イメージキャラクター
ジャジャゴン

第7次中期計画・営農振興計画について

中期計画・営農振興計画とは、めざすJA前橋市の姿（長期ビジョン）の実現に向け、経営課題に取り組むための3か年（第7次は令和元年度～令和3年度）の計画です。

徹底した進捗管理により、掲げた3か年の数値目標の達成、さらにはめざすJA前橋市の姿の実現に向け、役職員一丸となって取り組んでいます。

自己改革としての取り組み

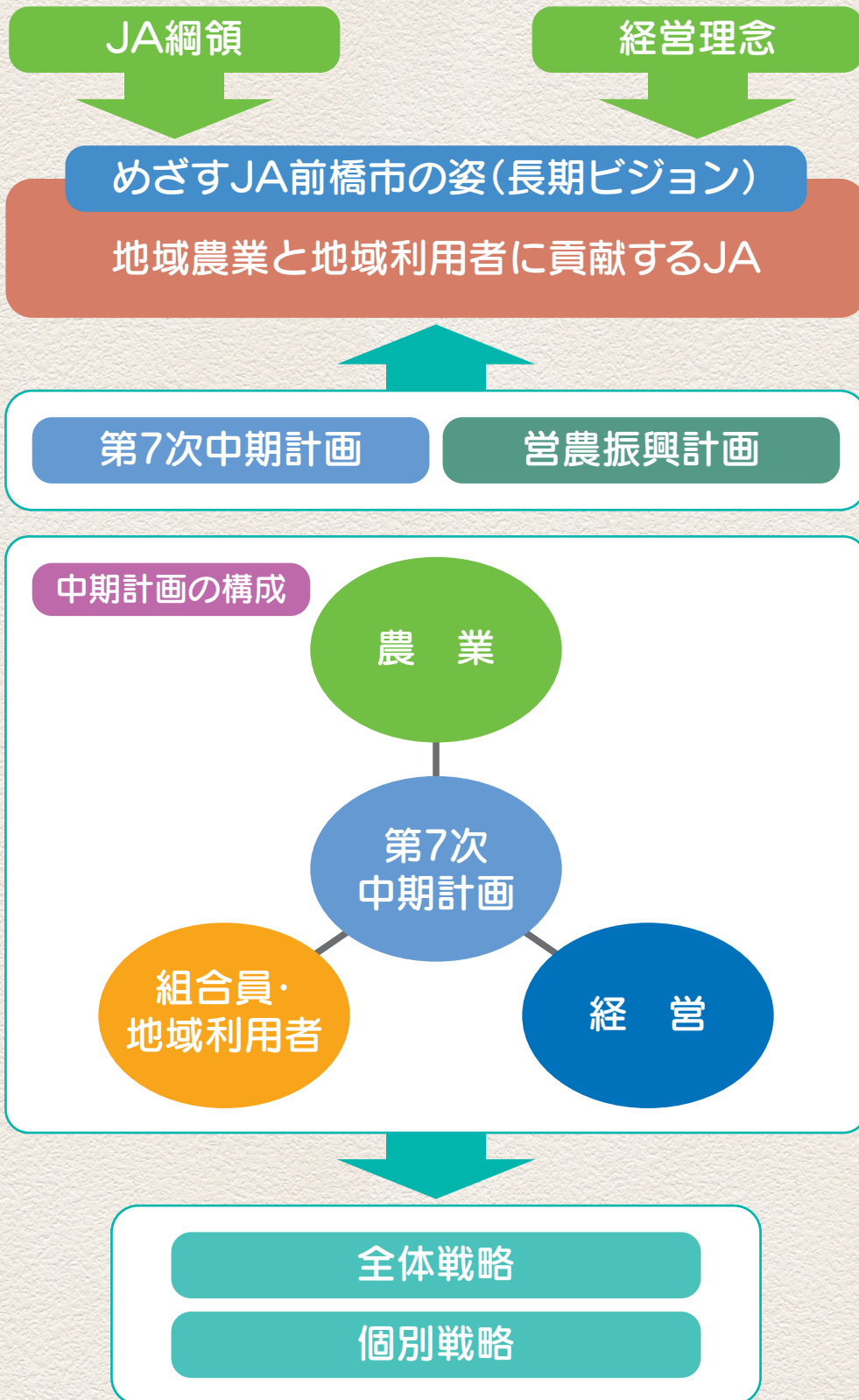
JA前橋市では、中期計画・営農振興計画に基づき、自己改革に取り組んでおり、その実践が組合員へ浸透し、組合員がより実感していただけるよう取り組みを進めてまいります。また、自己改革の大命題である「農業者の所得増大」に向けて最大限の努力をしてまいります。

めざすJA前橋市の姿(長期ビジョン)

地域農業と地域利用者に貢献するJA



中期計画の体系



第7次中期計画・営農振興計画の戦略構造

農業

全体戦略	個別戦略
農業者の所得増大・生産拡大に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 農畜産物の生産振興 ② 販売機能の強化 ③ 農業経営管理の支援・営農支援体制機能強化 ④ 経営コスト低減への取り組み ⑤ 担い手経営体の育成支援
地域の活性化に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 組合員組織の活性化 ② 食農教育の拡大・充実 ③ 食と農、地域とJAを結ぶ取り組み
営農センター化の実現	<ul style="list-style-type: none"> ① 営農支援体制の強化 ② 人材育成強化 ③ エリア化の特性を活かした生産振興の強化

組合員・地域利用者

全体戦略	個別戦略
総合事業を活かした部門間の情報共有と発信による組合員・利用者へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ① 農業融資担当者を中心とした融資推進体制確立 ② ローンセンターを中心とした融資推進体制確立 ③ 企業・取引業者・系統関連団体への推進体制確立 ④ 重層訪問活動による顧客満足度(CS)の向上

経営

全体戦略	個別戦略
組合員・利用者接点再構築による収益基盤の確保	<ul style="list-style-type: none"> ① 渉外推進体制再編 ② 融資機能集約 ③ 複合LA(渉外)の導入
地域農業と地域利用者に貢献するJAとなるべく経営基盤の構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能なJA経営基盤の確立 <ul style="list-style-type: none"> ① 組合員・利用者からの信頼性の向上 ② 支所営農施設再編の実施 ③ 安定した経営確保・営農経済事業における赤字圧縮 ● 意欲と能力を引き出す人事制度の確立と職員が十分に能力を発揮できるようなより良い環境づくり

「農家手取り最大化」プログラム支援

農家手取り最大化プログラム「きゅうり経営改善」支援の実施にあたり、硝酸コンパクトイオンメータを活用した数値結果をもとに、営農渉外担当者による提案活動を行い平均収量が7%向上しました。(対応生産者23名)。



▲硝酸コンパクトイオンメータを活用した経営改善を支援

プログラムについて

農家に対する提案活動や篤農家(匠)の技の伝承などを通じ、農家手取り最大化に向けた取り組みを加速させるプログラム。

- 1 農家手取り最大化に向けて生産者に出向く営農渉外活動を促進するための『提案書』や『ツール』を用意。
- 2 実践する過程で『研修会』や『ワイガヤ(職員同士学び合いの会)』『生産者への提案活動』を通じ、営農課長や営農渉外の人材育成を促進。

農家の技術支援 各エリアで栽培講習会等開催

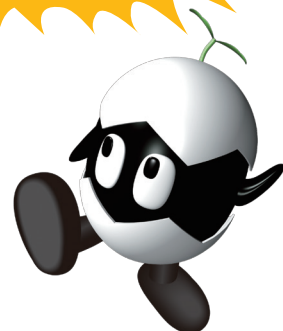
農業経営意向調査結果等を基にJA前橋市各種支援事業等の有効活用推進の実践と、エリアごとの栽培講習会・現地講習会を開催しました。これら栽培技術支援の実施により、JA前橋市の重点8品目を中心に生産拡大を図りました。また、生産拡大や作業効率の向上及び収穫量増加を目指すための機械等導入支援を行いました。



▲東部エリアで開催された管理講習会

合計22.2ha
生産拡大!!

ナス	2.1ha
ネギ	4.8ha
ブロッコリー	4.1ha
枝豆	0.1ha
ズッキーニ	4.0ha
加工キャベツ	7.1ha



経営コスト低減 生産資材価格の低減

経営コスト低減を図るため、市場価格調査結果をもとに仕入れ業者と交渉を行い、生産資材を中心に多品目の価格低減や仕入れ方法の見直し（大量仕入）により肥料6品目の価格を3～5%低減しました。また、肥料・資材共同購入運動、低コスト飼料用米専用・玉葱専用一発肥料「匠」の開発販売により組合員への供給価格低減に努めました。

生産者と職員によるまえばし畜産ブランドPR

まえばし畜産ブランドのイベント参加による認知度向上及び販路拡大営業活動に取り組みました。



▲来客者にまえばし麦豚をPR

26年ぶりに国内発生したCSF(豚熱)への対応

生産者及び行政等と連携したCSF防疫対応に取り組み発生防止に努めました。また、生産者の現場の声を反映した行政・関係機関へのCSF関連の要請活動を行いました。



▲CSF発生防止に係る要望書を市へ提出

組合員組織の活性化、食農教育の拡大・充実

JA前橋市常勤役員と女性組織協議会役員との対話集会等で意見交換を行い、組合員組織、JAが協力してさまざまな取り組みを行っています。一例として、JA前橋市青年部、女性協と協力して「餅つき体験学習」を開催しました。



▲対話集会で意見を交わす女性協役員とJA役職員



▲青年部と女性協の手ほどきで餅つきを体験する子どもたち

専門知識を持った職員育成

高度化する担い手経営体のニーズに即した専門知識を有した職員育成のため、土壤医（3級）に各エリア1名・営農部2名が受験し取得しました。また、作物別の土壤診断結果から施肥提案方法・病害虫防除の研修を実施しました。

「農家手取り最大化プログラム」では、「匠の技伝承」による農業者の所得増大に向け、実践的な研修を行い対話力向上に努めました。



▲生産者への適正な施肥方法をアドバイスする職員

総合事業性を活かした部門間の情報共有と 発信による利用者へのアプローチ

部門間連携による農業金融施策のPRと顧客満足度の向上

営農・畜産部門との部門間連携のもと、農業メイン強化先訪問による資金ニーズの把握と相談機能の充実に努め、農業関連資金7億35百万円の新規実行を行いました。

ローンセンターを中心とした融資推進により、46億88百万円の住宅ローン新規実行と、住宅ローン契約者を対象とした「農業収穫体験」を実施し、顧客満足度の向上に努めました。



▲トウモロコシの収穫を楽しむ参加者

令和元年度 農業関連資金新規実行

金額: 735百万円

件数: 101件

地域農業と地域利用者に貢献する JAとなるべく経営基盤の構築

支所営農施設再編の実施

組合員のご理解ご協力をいただき「支所・営農施設再編計画」の一環として、南部・北部支所、南部・北部営農センターを昨年8月にオープンすることができました。



▲南部支所オープン

地域貢献に関する取り組み

教育委員会へのランドセルカバー、食農教育資材の贈呈

地域貢献活動の一環として、前橋市教育委員会へランドセルカバー、食農教育資材を贈呈しました。



▲教育委員会にランドセルカバー・食農教育資材を贈呈

1支所1地域協同活動

JA前橋市では、組合員や地域住民との共生を図るために、「1支所1地域協同活動」に取り組んでいます。この活動を通じて、明るい地域づくりに貢献しています。



▲地域住民と交流する総社支所職員



▲前橋産野菜のプレゼントに喜ぶ来店者(前橋支所にて)



▲前橋産農畜産物を来場者にPR(宮城地区納涼祭)

[JA前橋市キャッチコピー]

笑顔と信頼 広げよう「ありがとう」の気持ち



みんなのよい食プロジェクト

JAグループは今、「みんなのよい食プロジェクト」を推進中。

「みんなのよい食プロジェクト」とは、安全で品質の高い農畜産物の生産や地産地消、食農教育など、いろいろな事業を通して生産者と消費者の絆を深める取り組みです。



耕そう、大地と地域の未来。